

デクセリアルズ株式会社・デクセリアルズ希望株式会社

■企業概要(デクセリアルズ株式会社)

設立年	2012年
所在地	下野市下坪山1724(栃木事業所)
業種	電子部品、接合材料、光学材料などの製造・販売
労働者数	1,603名(2019年3月31日)



栃木労働局では、令和元年12月25日、「デクセリアルズ株式会社」と「デクセリアルズ希望株式会社」を訪問しました。デクセリアルズ株式会社は、ソニーケミカルを前身とする、電子材料、光学材料などを製造・販売するグローバル企業です。栃木、鹿沼に製造拠点を有しており、平成27年には、鹿沼に、障害者雇用推進のための100%子会社デクセリアルズ希望株式会社を設立するなど、障害者雇用にも取り組んでいます。

訪問では、石黒聡上席執行役員、斎藤弘人事部長(デクセリアルズ株式会社)、小島孝夫業務管理部門長(デクセリアルズ希望株式会社)と、働き方改革の取組や障害者雇用などについて意見交換したほか、デクセリアルズ希望で障害者の方が仕事をされている様子を見せていただきました。

ポイント

- 障害のある社員が安心して働けるよう、上司・同僚が、手話や指文字などのコミュニケーション手段や、働くうえで配慮すべきポイントなどについて学び、働きやすい環境を実現しています。
- 社員の意見をもとに、人事部で検討し、長めの短時間勤務制度を設けるなど、働きやすく、キャリアを継続しやすい職場づくりを進めています。

<人材育成のための取り組み>

●社員一人ひとりが専門性を身に着け(成長)、それを発揮し(発揮)、公正に評価・処遇(評価・処遇)されることで次の成長につなげる、自己実現サイクルを実現するために、人事制度を大きく見直しました。

・2012年に、製造系、技術・開発系、営業系、管理系と4つ職種群を「ジョブファミリー」と位置づけ、ファミリー毎に人材育成責任者を配置し、職種ごとに専門性教育を行っています。

<ワークライフバランス、働きやすい職場づくり>

●同社は、くるみん認定企業であり、鹿沼市が認定するかぬま子育て応援企業でもあります。

・くるみん認定後も、両立支援制度の充実に取り組み、2014年には、配偶者の出産時や子の育児のために最長20日間の取得可能な「育児支援休暇」(有給)を設け、男性社員の育児参加に効果をあげています。2016年には、社員の意見をもとに、「育児短時間勤務制度」を見直して、法定の6時間に加えて、7時間を選択できるようにするなど、社員のニーズに応じて、キャリアを継続しやすい職場づくりを進めています。



「デクセリアルズ株式会社」
石黒聡上席執行役員(中央)
斎藤弘人事部長(左)
「デクセリアルズ希望株式会社」
小島孝夫業務管理部門長(右)

- ・同社は、「ハラスメントに対する基本姿勢」を策定し、社内外にそれぞれホットラインを設置しました。年1回、全社員を対象にeラーニング研修を実施しています。
- ・社員が有給休暇を取得しやすいよう、毎年6日間の計画休暇を設定しているほか、法定の5日間の有給休暇消化については、休暇の取得状況を12月時点で確認し、翌年3月末までに取得できるよう個別に働きかけを行っています。2018年度の平均取得日数は15.3日、平均取得率は67.2%でした。

<障害者、外国人など多様な人財を活かす職場づくり>

●ダイバーシティ推進にも、力を入れています。

- ・デクセリアルズグループの障害者雇用率は3.40%です。障害のある社員は、事務領域から製造領域まで幅広い職場で活躍しています。デクセリアルズ希望では、社員の指導のもと、メール便の集配、社内の名刺作成・包装、清掃、環境整備、廃棄物プレス・リサイクル作業などの業務を行っています。
- ・障害のある社員を新しく迎える部門では、上司・同僚がコミュニケーション研修を受けたり、ともに働くうえで配慮すべきポイントなどについて学んだりしています。新入社員研修においても、手話や指文字の研修を取り入れ、同じ職場の仲間として受け入れる体制を整えています。
- ・障害のある方の採用にあたっては、インターンシップや職場見学など、働く環境や仕事の様子を見てもらう機会を設けています。職場実習からトライアル雇用を経て採用に至る中でも、ジョブコーチによる支援を行い、社員として採用できるよう努めています。作業の際には、指導係の社員がともに作業をするようにしています。
- ・また、毎年30名~40名（新卒・中途採用含む）の採用では、外国籍の方を1~2名採用しており、外国籍の社員と一緒に働く部署などでは、異文化コミュニケーション研修を実施しています。



<今後に向けて>

- ・働き方改革や両立支援のための様々な取組を進め、プラチナくるみんの取得を目指して準備中です。
- ・定年を迎える年齢層の社員が増えることから、定年後の再雇用制度を改定し、5段階の格付け制度により、働き方に応じた処遇を行っていくこととしています。
- ・東京オリンピック・パラリンピックの交通渋滞緩和策として、在宅勤務制度の実施に向けた、トライアルを本社で実施していきます。



浅野浩美労働局長（右）
前村充総務部長（左）

■■訪問しての全体的な印象■■

栃木、鹿沼の事業所で、社員の方が作業中の障害者の方々に声をかける様子を拝見し、コミュニケーションの良さと、社員の日頃から働きやすい職場づくりに尽力されていることを感じました。

デクセリアルズ株式会社・デクセリアルズ希望株式会社の皆様、ありがとうございました

栃木労働局(局長 浅野浩美、総務部長 前村充、雇用環境・均等室：室長補佐 渡邊宏子、指導主任 大野昌毅)